

## 第2回エリア防災計画作成部会 会議録

### ■開催日時・場所・出席者

日 時：令和5年12月20日（水）10時～10時40分

場 所：中原区役所5階 503会議室

出席者：エリア防災計画作成部会委員（別紙名簿参照）

村石担当課長、大村課長補佐、斧山職員（以上、中原区役所危機管理担当）

### ■会議次第

1 開 会

2 部会長挨拶

3 議 題

（1）武蔵小杉駅周辺地域エリア防災計画改定素案について 【資料】【参考資料1】【参考資料2】

【別紙】

（2）今後の策定スケジュールについて （資料なし）

4 その他

第3回エリア防災計画作成部会 予定：令和6年2月19日

5 閉 会

### ■配付資料

資料番号	資料名
—	次第
—	名簿
—	武蔵小杉駅周辺地域帰宅困難者対策協議会規約（令和5年度）
—	エリア防災計画作成部会会則（令和5年度）
資料	武蔵小杉駅周辺地域エリア防災計画改定素案 概要
参考資料1	改定素案の構成及び新旧対照表
参考資料2	計画検討体制の見直し
別紙	武蔵小杉駅周辺地域エリア防災計画改定素案 意見照会表
別冊	武蔵小杉駅周辺地域エリア防災計画修正 新旧対照表

## ■会議要旨

### 1 開会

### 2 部会長挨拶

《川崎市中原区 副区長 青山部会長》

第1回会議で決定した改定方針に基づいて事務局が改定素案を作成したので、改定版の最終決定に向けて、各委員の意見を集約・反映させていきたい。

### 3 議 題

#### (1) 武蔵小杉駅周辺地域エリア防災計画の改定方針について

○事務局より、資料、参考資料1・2に基づき、武蔵小杉駅周辺地域エリア防災計画改定素案について説明を行った。

福田委員： 想定帰宅困難者数は平日昼の暫定値として、最新のデータは後日差し替えとしているが、いつ頃に反映される予定なのか。また、夜間・休日の想定人数を算出した後、素案の内容が修正されることはないか。

事務局： 委託調査は、来年1月末までに結果が出る予定である。調査内容は現在の状況を踏まえた平日昼・夜間・休日における想定帰宅困難者数の算出であり、改定素案でも夜間・休日の発災を想定した対応を記載しており、結果の具合によって素案の内容が大幅に変わることは無いと思われる。

福田委員： 災害時の公共施設利用は地震以外のケースでもあり得るが、エリア防災計画及び帰宅困難者等対策協議会の活動は、あくまで大規模地震を想定したもののか。

事務局： 原則として、帰宅困難者対策は大規模地震を想定したものである。しかしながら、風水害や交通災害など、大規模地震以外でも滞留者が多数発生するケースがあるため、それらにも対応できるよう一部の施設には個別で調整している。

原田委員： 『帰宅困難者』の解釈がむやみに広がらないよう、定義は原則に従って大規模地震に限ったものとして定めてほしい。

#### (2) 今後の計画策定スケジュールについて

○事務局より、別紙「武蔵小杉駅周辺地域エリア防災計画改定素案 意見照会表」に基づき、第2回会議後、各委員や地域からの意見を募集・反映した素案を第3回会議に諮り改定案を策定し、3月中旬の帰宅困難者対策協議会の審議により改定版を最終決定とする旨を説明した。

### 4 その他

○青山部会長より、翌年2月19日（月）に第3回エリア防災計画作成部会を開催する予定であることを説明した。

○事務局より、駅・一時滞在施設・区役所の3者で行う帰宅困難者対策訓練を1月下旬～2月中旬に関係者との調整のうえ実施すること、川崎市ロータリークラブから寄贈された防災ラジオを一時滞在施設に配布することの2点を案内した。

## 5 閉 会

《青山部会長 挨拶》

次回の会議で改定案を固めるため、各委員においては素案に対する意見発信や協議に御協力いただきたい。

以上